



令和3年度川俣町立福田小学校学校だより

しらさぎ Kids NO. 30

令和3年11月15日

文責:校長 神尾孝弘

第2回放射線教室

11月9日(火曜日)。福島大学の河津先生を講師に迎え、今年度第2回目の放射線教室を全学年で実施しました。6月に行った第1回目の学習を踏まえ、さらにレベルアップした内容を分かりやすく教えていただきました。学年の発達段階に応じて、放射線の性質や仕組み、放射線の影響を減らす方法などを紙芝居やクイズ、線量測定などを通して学習しました。

中でも6年生は、汚染水の海洋放出の賛否を、様々な角度から考えました。ひとつの見方だけでなく、多様な視点から海洋放出について意見を出し合いました。賛成・反対の両方の立場に立って考えることで、物事を深く考えることができました。また、正解のない問いに対してみんなで意見を出し合い、よりよい答えを導き出していこうとする姿が見られました。

今回の放射線教室の実施にあたり、ご支援いただいた関係者の皆さんに感謝申し上げます。ありがとうございました。



【裁縫の学習支援】

11月11日(木曜日)。秋山の黒澤さん、羽田の高倉さんが、5, 6年生の裁縫の授業を支援してくださいました。ミシンの使い方や手縫いの方法などを分かりやすく丁寧に教えていただき、一人一人の学習の成果が高まりました。

子どもたちからは、「優しく教えてもらって、上手に縫うことができました。嬉しかったです。」などの声を聞くことができました。みんな満足そうな表情でした。また、黒澤さんと高倉さんは、「子どもたちはみんなやる気があって、私たちも元気をもらいました」と目を細めていました。こうして、地域の皆さんの温かいご支援を受けて、子どもたちは成長しています。ありがとうございます。



【福田のよさを見つける／近大生との顔合わせ】

町組の区長さんの橋渡しのもと、近畿大学と連携して福田地区の良さを見出し、その魅力を外部に発信する取組を進めることになりました。11月5日(金曜日)には、近畿大学の先生と学生が来校し、子どもたちとの顔合わせ会を行いました。学校内を案内したり、体育館で一緒に体を動かしたりしながら、親睦を深めました。また、学生さんたちが子どもたちの下校に付き添ったり、楽しい教室に顔を出したりしながら、地域のよい所を見つける活動も行いました。

今後は、近大とオンラインでつながりながら、子どもたちが地域の良さに改めて目を向け、「人・もの・こと・文化・自然」の素晴らしいところを発見する活動を行っていきます。そして、地域の皆さんと協力して、福田の魅力を組み入れた「福田カルタ」を製作していく予定です。これらの活動を通して、地域への誇りや愛着が育まれていくことを願っています。

